

母子保健活動の評価指標

目的:子育て中の親が健康で安心して子育てができる(発達障害・児童虐待の早期発見も含める)

1:できている 2:ややできている 3:どちらともいえない 4:ややできていない 5:できていない
前年度と比べて 1:改善した 2:現状維持 3:後退した

評価欄					評価マニュアル(評価のてびき)欄		
評価枠組	評価指標番号	評価指標	評価	改善状況	改善内容・今後の課題	根拠・資料	評価の考え方・視点
構造・活動の基盤	1	市町村の母子保健計画に「安心して子育てができるまちづくり」が位置づけられている				各種保健福祉関連計画 等	市町村基本構想、母子保健計画、すこやか親子、子ども子育て支援計画等に記載されている、又は、福祉部門が扱う母子福祉関連の計画にも記載があるか確認する。
	2	職場内に母子保健対策を俯瞰し、母子保健計画の評価・見直しを行う場・会議がある				母子保健担当者会議 次世代育成会議 子ども子育て支援者会議 母子保健推進員会議 等	自治体によっては母子保健福祉対策が母子保健課、子育て支援課、児童福祉課等に分割されることがあるが、組織内でこれらの部門が連携し、業務の重複や漏れがないかを確認する。母子保健福祉対策の全体を俯瞰し、各部門の方針や活動について情報共有し、母子保健計画の評価、見直しができる会議があるか等を確認する。
	3	地域の保健・医療・福祉の関係者と母子保健について話し合う場・会議がある				医療機関との連絡会議 母子保健福祉関係者との会議 等	地域の産科、小児科を含む医療機関との連携会議、地域の母子保健福祉関連の関係機関と連携し、協議する場・会議について確認する。
	4	母子保健の地域ニーズに対応できる予算が計上/確保されている				母子保健関連予算、補助金 等	法定事業以外の地域ニーズに対応する予算が確保されているか確認する。
	5	母子保健に関する総合的な相談窓口が利用されやすく、周知されている				子育てガイドブック HP掲載 子育てに関する行政調査結果 等	母子保健あるいは子育て相談窓口の整備状況を確認する。「利用しやすさ」とは「身近かさ」、「窓口開設の時間帯」、「配置している職員数・職種」等である。「インターネット」等の周知方法についても確認する。
	6	発達障害及び児童虐待が疑われる児を早期発見できる体制(仕組み)がある				母子保健手帳の交付時の面接記録 医療機関との連絡票 乳幼児健診・相談の体制 等	母子保健手帳交付時のスクリーニングシート、乳幼児健診のチェックシートや医療機関との連携体制、専門職の配置、住民からの情報提供等について確認する。
	7	保健師が地域に出向き、地区活動を行う時間が確保され、保健師の地区活動の意義が認識されている				家庭訪問記録、地区組織育成、ネットワーク化の活動等	保健師が要訪問のケースだけでなく、地区の関係者を訪問しているか。地域に出向くことが職場内で認知され、地区活動の時間が確保されているか確認する。
	8	保健師(担当者)が助言を得る(相談できる)場・体制がある				定期的な研修会 事例検討会 教育機関との連携 管内の他職種・同職種との勉強会 等	職場内で相談できる体制があるか。個々の保健師や組織が抱えている問題・課題について、大学などの教育機関や専門機関、またOB(遠隔通信システム)等から助言、指導が得られるかを確認する。
プロセス	地域診断						
	9	乳幼児と親の健康状態・生活状況、相談内容を捉え、個別支援の必要な対象(フォローの必要な対象)を把握している				母子保健実績報告 相談記録 母子保健台帳 等	出生届や、母子保健関連の健診で把握した児と親、家族の健康状態・生活状況、未受診者情報など、届け出や健診、訪問、相談等の日常の業務を通して支援の必要な対象が把握されているか確認する。発達障害や虐待が疑われるケースを把握する基準やカンファレンスがあるかも確認する。
	10	母子保健に関する地域のキーパーソンや保育園・幼稚園、小児科医等と母子関連の情報交換を行っている				母子保健関係者会議録 保育園等訪問記録、ニーズ調査(計画策定時) 等	日常の活動を通して把握した母子に関する情報を、地域の助産師や保育士、小児科医等と適宜あるいは定期的に交換していることを確認する。情報には、子ども子育て支援計画等の立案時や見直し時に行う調査も含む。

母子保健活動の評価指標

1:できている 2:ややできている 3:どちらともいえない 4:ややできていない 5:できていない
 前年度と比べて 1:改善した 2:現状維持 3:後退した

評価欄					評価マニュアル(評価のてびき)欄			
評価 枠組	評価 指標 番号	評価 指標	評価	改善 状況	改善内容・今後の課題	根拠・資料	評価の考え方・視点	
プロセス	11	母子保健に関する地域資源と支援者を把握し、地域のニーズの分析(地域診断・組織診断)を行っている				子育てガイドブック等 母子保健関係者から提供される情報 子育てグループ等との会合の記録 子育て中の親へのアンケート結果等	子育て支援のための施設や支援者についての最新情報を、資料や関係者の調査によって収集し、それらの情報を担当者で分析できているかを確認する。	
	12	地域の関係者と母子保健の課題を共有し、達成目標を明らかにしている				子育て支援者等の会議録等	関係者とは住民、保健所、医療機関、保育園・幼稚園、児童委員、母子保健推進員、通所施設等で、これらの機関と課題や達成目標について合意形成を図っているか確認する。この指標の成果は、結果25,26,27,28に反映される。	
	実施(計画、支援)							
	13	母子保健の各種事業計画を立てている						各種事業計画とは、国及び県の方針を踏まえ、地域の実情に応じたものを指す。また、計画には、災害時、緊急時対応の計画も盛り込まれているか確認する。
	14	保健師の地区活動の計画が立てられている						地区活動の計画には、地域住民の地域づくりの計画を踏まえているか確認する。
	15	個別支援が必要な児や親について支援方法を話し合い、支援計画を立て、実施している					健診後のカンファレンス記録 担当者会議録等	フォローケースを確定し、フォローの方法、頻度を協議し、フォロー結果を共有しているか確認する。
	16	グレーゾーンの事例に対しては、必要な期間支援を行っている						グレーゾーンの事例とは診断が確定しておらず、福祉や医療の制度の利用に至っていない事例等を指す。必要な期間とは、他機関他部署に引き継がれ、主な支援が保健部門でなくなるまでの期間を指す。
	17	子育て不安や成長発達の遅れが疑われる児を持つ親が集まる場を設定している						集まる場とは、親が交流し、かつ保健師が子どもの成長発達を確認できる場を指す。他部門が設定している場合は、それらの情報を共有しているかも含め確認する。
	18	子育て不安や成長発達に遅れが疑われる児を持つ親のグループを育成している					フォロー教室記録 親グループ支援記録等	親のグループ育成のニーズを把握し、グループ化へ向けた支援を行っているかを確認する。
	人材育成							
19	地域住民に対して地域の子育ての課題を伝え、子育てを手助けするよう啓発している					母子保健推進員研修等の記録等	地域住民の子育てへの関心が高まるように、地域の子育ての実態や課題を発信する。他部門と連携して行う児童委員、母子保健推進員やNPO・ボランティア等の育成も含める。	
20	職員・支援者が日頃の子育て支援について学習する機会を設けている					研修事業報告 事例検討の記録 事業終了後カンファレンス等	日常業務の中でカンファレンスや事例検討等により、職員・支援者の力量形成の機会を設けているか確認する。支援者にはボランティアも含める。	

母子保健活動の評価指標

1:できている 2:ややできている 3:どちらともいえない 4:ややできていない 5:できていない
 前年度と比べて 1:改善した 2:現状維持 3:後退した

評価欄					評価マニュアル(評価のてびき)欄		
評価 枠組	評価 指標 番号	評価 指標	評価	改善 状況	改善内容・今後の課題	根拠・資料	評価の考え方・視点
評価・モニタリング							
プロセス	21	母子保健活動・事業を振り返り(評価・モニタリング)、成果と課題を明らかにしている					日常の業務や事業の評価・モニタリングを行い、成果と課題を明らかにする話し合いを業務の一環として定期的に行っているか確認する。
	支援体制の整備・政策提言						
結果 1	22	母子保健福祉の地域資源を見直し、必要な資源を検討し、改善している				母子保健関係者会議 医療・福祉助成制度 緊急搬送システム 等	住民を含めた保健、福祉、医療、関係者で地域資源および制度の不備・不足等について検討する機会を持ち、改善を図っているか確認する。
	23	子どもを持つ親から「保健師につながってよかった」「事業に参加してよかった」等の声が聞かれる				アンケート調査 母子保健関連事業終了時の聞き取りの記録 等	事業への参加者の感想を発言や記録等から確認する。また、計画の見直し時にアンケート調査を実施し、利用者の声を把握することも含める。
結果 2	24	個別支援のための生活状況等の把握が必要な妊婦や母子に対する訪問が増える				訪問(保健師、母子保健推進員等)実績 事例検討会議録 等	評価指標6、15と関連し、生活状況や成長発達の把握が必要なケースに必要な時期に訪問がなされているか確認する。ケースに会えなかった場合も訪問実施数に含める。
	25	各種健診の未受診者フォローを徹底し、未把握率が減少する				母子保健実績報告 等	フォローにより未受診者の実態を把握し、新たなあるいは潜在的な住民ニーズを把握する。
	26	子育て支援のネットワーク会議に参加する関係機関やグループが維持・増加する				アンケート調査 ネットワーク(連携)会議録 等	日常業務を通して、住民が支援者となることや支援グループに所属することを動機づける働きかけがなされているかを確認する。また、ネットワーク会議へ参加する機関やグループ数を確認する。
	27	地域の関係者と協働して目標が達成される				連携会議の記録 等	地域の関係者と母子保健の課題について話し合うことで、達成された目標が増えたか確認する。
結果 3	28	子育てに関心を持ち、手助けする住民が維持・増加する				事業実績報告 等	評価指標18に関連し、自治体の「地域づくり」関連課や社会福祉協議会等と連携して、子育てに関心を持ち、手助けする住民が維持あるいは増加したことを確認する。
	29	事例検討会を含む母子保健活動の評価・見直しの機会に参加する住民・関係者がつながりを維持・増加させ、ネットワークが強化される				会議録 母子保健事業報告 等	母子保健活動の評価・見直しの機会とは、個々の母子保健事業終了時のカンファレンスや評価のための会議を指し、そこに参加する住民(児童委員・母子保健推進員)や保育士、産科・小児科医の参加数を確認する。
	30	周囲の力を借りて子育てする親の数が増える				行政調査 健診時間診表票 経年的地域診断 等	子育て支援の到達目標である「親が周囲の力を借りられ、前向きに子育てができる」親の数を捉える。 健診の問診票や計画立案時の行政調査を通して把握した数などで確認する。
	31	母子保健に必要な社会資源が整備され、十分に機能している				地域診断情報	評価指標21に関連し、子育て支援ネットワークの立ち上げ等、地域資源の実態を把握し確認する。地域のケアシステムの構築を含め社会資源が機能しているかについて確認する。
	32	目標に掲げた母子保健指標が改善する				衛生統計年報 等	母子保健計画に掲げた達成目標の到達状況等から把握する。 子育てに不安をもつ親の減少の他、例えば、低体重児出生率、虐待の重症事例の減少等である。